



靜岡新聞

ねん がつ むいか ちょう かん とう ぶ はん
2022年5月6日朝刊東部版

※小学校低学年の人はおうちの人などと一緒^{いっしょ}にやってみましょう。



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年5月6日朝刊東部版

富士・元吉原小児童



富士市の元吉原小5年生約50人がこのほど、同市松の田んぼで田植えを体験した。富士山を仰ぐ大きな水田に、泥に足を

「ふじのくに美農里プロジェクト」に取り組む富士山のふもとの郷を守る会のメンバーが指導した。水が張られた約500平方メートルの水田に足を入れた児童は三角柱の定規を使って等間隔にコシヒカリの苗を植えていった。最初は泥の感触に悲鳴を上げた児童も徐々に集中して担当分を仕上げた。片又日和さんは「手で植えるのは大変だった。苦労したからきつとおいしくなるはず」と収穫に期待した。9日には元吉原中の生徒も体験する予定。昔ながらの定規を活用して手で苗を植える児童は富士市松

※小学校低学年の人はおうちの人などと一緒にやってみましょう。

- ①児童は何という稲の苗を植えていますか。(**コシヒカリ**)
- ②苗を等間隔に植えるために、児童は何を使っていますか。(**(三角柱の)定規**)
- ③この田植えで、児童が苦労したことは何ですか。苦労した理由も入れて30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 田んぼの泥に入って田植えをしたので、足をとられて苦労した。(29字)
機械で田植えをするのではなく、手で植えたので苦労した。(26字) など

- ④児童の様子から考えて、記事の口に入る見出しを12字以内で書きましょう(句読点は付けません)。

(例) 田植え体験 泥に歓声(9字)／泥の中 手植えは大変(9字)
苦労した分 おいしくなあれ(12字) など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校(低・中・高学年)・中学校／生活、社会、総合)